家の人にも見せよう

豊高SGH フェアトレード班 通信

2015年 6月12日 第8号

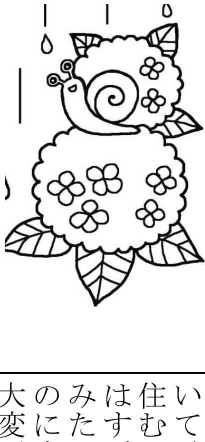
フェアトレードとは途上国の生産者を対等なパートナーとし適正な価格で継続的に取引してフェア（公正）なトレード（貿易）をめざす取り組み。

関学　武田先生の講演　感想文紹介３

☆社会起業というのは利潤を得るためでなく**社会問題を解決するためのものだというのがとても印象的でした。**またフェアトレード団体というのは生産者と消費者の間に入って取引をするだけでなく生産者の技術の向上などフェアトレードの商品をよりたくさんの人に認知してもらい買ってもらう努力をしているということがよくわかりました。ビッグイシューやホームドアなどのホームレスの人を少なくするという取り組みもとても興味深いものでした。（M）

☆今日の講義を聴いて、ＡＰＩＫＲＩの具体的なことがよくわかった。フェアトレードだけの観点ではなく、**社会的起業という形の三つのうちの一つとして知ることが出来た事が新鮮だった。**

まず社会的問題を挙げていくことから始まり、自分がいかに世の中のことについて知らないことが多いかわかった。そのため『ニューズウイーク』を読んでみたいと強く感じた。またフェアトレード団体は世界を見ると二つ三つなどではなくもっと数があることに驚いた。なので、ＡＰＩＫＲＩ以外にもどのような団体があるのか知りたいと思った。これからもっと世界に目を向けて、積極的に課題研究のフェアトレードに取り組んでいきたいと思った。（Ａ）



☆わたしは、テレビなどで貧困地域の映像を見て何とかしなければならないという意識はありましたが、今回社会起業やフェアトレードのＡＰＩＫＲＩの事について詳しく知って、**実際どのようか活動をして貧困層を助けていくのかを学ぶことが出来ました。**私たちがフェアトレードをするというのはデザインなど様々な事を考える必要があり大変で難しそうですがとてもやりがいのあることだと感じました。（Ｂ）

☆フェアトレードを実際にどのようにしているのか詳しく知れてよかったです。ホームレスを助けるためにビッグイシューを売っていたのは知っていたけど、しくみは全然知らず、ただ利益の一部がホームレスに行くだけなのかと思っていました。でも今回中身を知れ、すごくよい発想だと思いました。**このような少し変わった発想が、フェアトレードをうまく成功させるために必要な力なのではないかなと思います。**ますます実際にやってみたくなりました。（Ｎ）

☆ビッグイシューという雑誌のことを聞いて、一冊一冊安くてもたくさん売れれば住むところが得られるまでになるというのはすごいと思いました。一度買って読んでみたいです。コーヒー豆を作るのは大変なのに実際３～４％鹿生産者に戻らないのは大変だと思いました。実際に**自分たちがフェアトレード団体になるのは大変そうだと改めて感じました。**（Ｓ）

☆フェアトレード団体に自分たちがなるにあたってどこで、誰をターゲットにどんな商品を販売すればよいのか、**具体的に皆で話し合って決めていくのが楽しみだと感じました。**フェアトレードの商品を販売するにあたっては現地の人々の作業中の写真や裏話などを小さな紙に書いて商品と一緒に渡してみてはどうかと思いました。（Ｗ）

つづく